

あきる野市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況

【推薦の状況】

受付番号	被推薦者（推薦を受けた者）								推薦者					あきる野市農業委員候補者への推薦
	区域	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者等の該当・非該当	推薦者名	団体の目的	構成員		推薦理由	
											人数	資格		
1	多西	小川 金二	農業	77	男	昭和47年 東京経済大学経済学部を卒業 同年 日本電信電話公社福生電信電話局入社 平成26年にNTT東日本新宿フレッツ受付センター退社	耕作面積：約70a 作付品目：切花、野菜（キュウリ、芋等） 農業従事日数：330日	該当	秋川農業協同組合	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき協同して組合の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経営状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。	13,635	組合管内で農業に従事する者及び管内に居住する者等	農業委員として4期12年の実績があり、農業に関する見識や農業事情に精通している人物であることから適任と考え推薦いたします。	推薦していない
2	東秋留	小澤 正幸	農業	73	男	昭和46年3月 都立農林高等学校卒業 昭和46年4月 福生市役所 入庁 平成22年3月 福生市役所 退職 平成22年4月 専業農家	耕作面積：約42a 作付品目：野菜（トウモロコシ、落花生、人参） 農業従事日数：300日	非該当	秋川農業協同組合	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき協同して組合の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経営状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。	13,635	組合管内で農業に従事する者及び管内に居住する者等	現在秋川ファーマーズセンター会員として農業に関する見識を有しており、地域の農業振興に尽力されております。また、温厚で人望も厚く、地域においては地区役員及び各種役員等を経験されており、地域農業にも精通しておりますので農地利用最適化推進員に適任と判断し推薦いたします。	推薦していない
3	西秋留	嶋崎 三雄	農業	77	男	昭和42年 田中貴金属工業（株）に入社 平成14年 同社退職後、農業に従事 平成24年 内田農業振興会緑綬功労賞受賞 秋川農業協同組合理事、秋川農業協同組合監事等を歴任	耕作面積：約85a 作付品目：野菜（トマト、ナス、葉菜類等） 農業従事日数：300日	該当	秋川農業協同組合	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき協同して組合の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経営状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。	13,635	組合管内で農業に従事する者及び管内に居住する者等	秋川ファーマーズセンター出荷部会の会員であり、また秋川農業協同組合の理事並びに非常勤監事を歴任されました。農業情勢に精通しており、農業者のみならず地域住民からの信頼も厚い。あきる野市の農業振興にも寄与しており農地利用最適化推進委員に適任と判断し推薦いたします。	推薦していない
4	増戸	橋本 敦美	農業	64	女	昭和57年 （株）ラプリー入社 平成2年 （株）研装入社 秋川農業協同組合女性部副部長、同部長、秋川農業協同組合理事などを歴任	耕作面積：約4.6a 作付品目：花き（菊、パンジー、ビオラ等）、野菜（のらぼう菜等） 農業従事日数：250日	非該当	秋川農業協同組合	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき協同して組合の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経営状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。	13,635	組合管内で農業に従事する者及び管内に居住する者等	ファーマーズセンター出荷部会の会員であり、秋川農業協同組合女性部部長を歴任し、現在秋川農業協同組合の非常勤理事として農業情勢に精通しており人望も厚く、農地利用最適化推進委員に適任と判断し推薦いたします。	推薦していない

受付番号	被推薦者（推薦を受けた者）								推薦者					
	区域	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者等の該当・非該当	推薦者名	団体の目的	構成員		推薦理由	あきる野市農業委員候補者への推薦
											人数	資格		
5	五日市	栗原 剛	農業	55	男	平成元年 都立武蔵村山東高等学校を卒業後、厚生省（現・厚生労働省）入省 平成14年 実家の農業の継ぎ就農 JA東京青壮年組織協議会委員長を歴任	耕作面積：約56a 作付品目：野菜（ミニトマト、ピーマン、オクラ等） 農業従事日数：300日	該当	秋川農業協同組合	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき協同して組合の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経営状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。	13,635	組合管内で農業に従事する者及び管内に居住する者等	認定農業者として農業に関する見識を有し農地利用最適化推進委員の職務を適切に行うことが出来ることからここに推薦いたします。	推薦していない
6	戸倉・小宮	田中 利明	農業	67	男	昭和52年 都立多摩高等学校を卒業後、戸倉農業協同組合に入職 秋川農業協同組合指導経済部長を経て、秋川農業協同組合代表理事常務を歴任	耕作面積：約0.8a 作付品目：野菜（じゃがいも、のらぼう菜、白菜等） 農業従事日数：80日	非該当	秋川農業協同組合	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき協同して組合の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経営状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。	13,635	組合管内で農業に従事する者及び管内に居住する者等	農業に関する見識を有し、過去にJA職員として営農指導に携わっていた経験を活かし、地域農業にも精通しており農地利用最適化推進委員を適切に行うことが出来る人物であることから適任と考え推薦いたします。	推薦していない

【応募の状況】  
応募はありません